

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年6月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホームいしき
所在地	鹿児島市伊敷台4丁目34番50号 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	平成 29年 4月 26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年6月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念を毎朝唱和し、一日の流れを立てていただき、
理念に基づいた介護に取り組む。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【看取りについて】

○当ホームは、医療機関が母体であり、共有型通所介護施設を併設している。隣接した有料老人ホームとの連携が構築されており、近隣には協力医療機関があり、24時間医療が受けられる。地域医療に熱心な主治医であるため、重度化したり、看取りを希望される利用者、家族の要望に応えるべく関係機関と十分に話し合い柔軟に取り組んでいる。現在、百歳の女性の方を看取り介護している最中である。これまでに看取りの実績があり、今後も利用者や家族の希望に添い、納得のいく最期が迎えられるよう取り組む方針である。管理者は、看取りの指針はあるが、重度化については意志確認を文書化していないため、今後検討したいと考えている。

【理念について】

○理念は、開設当初からのもので、今年度から朝礼時に唱和し毎月の定例会議で触れるように取り組んでおり、職員に浸透している。また、人事考課システムがあり、職員は個々の評価に「理念」の項目もあることから、常に理念を意識したケアが提供できるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝礼で理念の唱和をして、職員間にて共有し実践している。	開設当初からの理念は、パンフレットに掲載されホームの共有スペースなどに掲示しており、新年度からは朝礼で唱和し理念を共有しケア実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・運営推進会議時、民生委員さんと情報交換を行っている。 ・地域の小学生たちとの交流や夏祭りなどを通し、地域の方々との交流がある。	校区の清掃活動、資源ごみ回収に協力したり、法人の行事や小学生の慰問、中学生の職場体験の受入れをするなどして地域と関わり交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	なかなか、広く認知症というものを理解していただく機会作りに欠けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、運営推進会議を行い、その場で現状報告など行い理解を得ている。	ホームは、今年度から新体制になり業務の見直しを検討しサービス向上に努めているところである。家族には毎月交代で会議に参加してもらっているが、参加者が少ない。管理者は、特に新入所者の家族には会議の必要性などを説明し、積極的に会議への参加を促すなど声かけしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に社協や地域包括支援センターを訪問し、現状報告や情報交換を行っている。	市担当者とは、面談や電話などで連絡を取り、相談や助言を受けるなど密に連携を図っている。また、民生委員から地域の情報を収集し、協力体制を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置し、1ヶ月に1回の見通しと意見交換を行っている。	身体拘束マニュアルがあり、月1回、全体会議で話し合いをしたり、年1回有料老人ホームと合同研修を実施している。夕暮れ症候群の方などあり、職員が付き添い戸外を散歩したり、センサーにより危険を察知するなど安全な生活ができるよう取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	積極的に対外の研修に参加し、虐待の理解を深め、施設内研修などで他職員へ周知している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	直接は管理者が対応するが、今後他の職員への勉強会も行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の際、説明にひとつひとつ確認を取りながら、十分説明を行い、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時など、ご家族様と意見交換をしたり、月に1回いしき通信(月報)をお送りし、現状を周知している。</p>	<p>利用者やご家族とは、居室の担当者が中心となり、日々の暮らしや面談時に意見、要望を聞くようにしている。また、推進会議で他のメンバーと意見交換し話し合っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員との会話を大切にし、何気ない会話から、思いを読み取れるようにしている。</p>	<p>人事考課システムがあり、管理者と職員は半期に1回面談している。法人は、障害者雇用にも力を入れており、業務体制の整備をしたり、経営コンサルタントのアドバイスを受けて働きやすい職場環境を目指すなど職員の意見、提案を聞いてサービスの質の向上に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員の自己評価に基づき、給与の見直しなど行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内を提示し、受けたい研修に参加していただいている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>交流の機会はセッティングできないが、今後グループ施設の有料老人ホームけやきの職員との交流を図っていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用については、事前に面談を実施し、本人の思いや不安を受け止め、安心感を与えられるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が求めているものを理解し話し合い、事業所としてどのように対応ができるか話し合いすることに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族の思い・状況を把握し、色々な選択肢の中から、本人により良いサービスが提供できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いや苦しみ・不安・喜びなどを知ること努め、お互いが協働しながら、共に支えあえる関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様、ご家族様の思いを聞き支援し、月初めには月報にて施設内での出来事・利用者様の状態の情報を、ご家族様と共有するようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会を、なるべく回数多く来ていただいている。	入所前の生活歴を参考にして、家族を始め人との関係性が途切れることがないよう配慮している。近所の方、昔馴染み、知人の訪問があり、携帯電話で家族と連絡を取る方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来ない方のことを、出来る方がしてくださったり、目についたことを教えあったりして下さる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ケアマネージャーやご家族様を通じ、退所後の利用者様の状態を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族様より話を聞き、ケアマネージャーを中心に話し合い、プランを立て、出来ることは希望に添える様、検討・働きかけを行っている。	職員は、日々の暮らしの中で会話し寄り添うなどして、本人の思いや希望を汲み取るよう取り組んでいるが、重度化により意志疎通が困難な方も多く、朝礼やカンファレンスの中で利用者の思いを共有するよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の方々や、病院・施設等に話を聞き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	看護師を中心とし、本人を観察する中で、生活リズムやADL・何に対する依存が強いかな等調べ、把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時にご本人・ご家族様と話し、ケアプランを立てている他、月に一度スタッフミーティングを行い、プランの見直しを行っている。	毎月1回、カンファレンスを実施し、3ヶ月1回評価をしている。現在、看取り介護中の方がおられ、週1回主治医を始めとするメンバーが集まり会議をして目標やケアの方向性、サービス内容について話し合っている。また、遠方に居住する家族も多く、計画書を郵送し、電話やメールで同意を頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録を毎日書いており、日々の状態の把握が、職員全員で出来るよう行えている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個人個人で何が必要なかをスタッフ間で話し合い、適切な支援やサービスを受けていけるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域で行われている季節ごとの行事にも積極的に協力・参加をするようにし、少しでも多く楽しむ機会ができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に一度の定期往診に加え、異変があった際にも主治医へ報告し、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>本人や家族が希望する主治医であり、定期的に訪問診療、検査や異常時は、外来受診にて支援している。家族には、他科受診をお手伝いを頂いている。訪問歯科、薬剤師、看護師と連携し、24時間医療が受けられる体制が構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の記録や報告を密にし、情報の共有が出来るようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院となった場合は、情報提供書のやり取りや、必要時ケアマネや病棟の看護師と話し、出来る限り協働できるように働きかけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に近い利用者様が出た場合には、ご家族様に意向を聞き、出来ること出来ないことの説明を行っている。また、医師や看護師・ご家族様に情報共有できるよう働きかけている。	重度化や看取りについては、契約時に口頭で説明しているが、文書などは交わしていない。これまで、数件看取りの実績がある。看取り開始前には、ホームででき得るケアについて十分に説明し、文書にて同意を得るようにしているが、今後は、段階に応じて文書にて意志確認をおこなうよう検討したいと考えている。	重度化や看取りについては、段階に応じて、関係者間で十分に話し合い、必要な措置を取ることが望まれる。同時に文書などで双方の意向、ケアの方向性など意思確認をおこなうことが重要であり、今後、文書化されることに期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一度、AEDなど急変時の対応を学び、夜間はマニュアルに沿って行動ができるように周知されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年に2回、防災訓練を行い、火災時の対応を学んでいる。	年1回消防署立ち合いの下、避難訓練を実施、1回は自主訓練をしている。利用者分のヘルメットが準備され、隣接の有料老人ホームとの協力体制がある。また、地域の協力体制は薄いですが、民生委員に協力が得られている。米、水、乾物などの備蓄を完備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけは、その方に合った対応ができていますが、プライバシーに関しては、在室中転倒防止のために入り口を開けているため、守れていない。	居室の扉開閉時は一声かけて入室したり、会話する時は声のトーンに気を配り呼びかける時は、さんづけで呼ぶようにしている。また、有資格者が講師となり、毎年研修会を開き知識を研鑽している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事にも本人へ確認を取り、動作をするよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合ではなく、他者優先にかかっている時重なると、その方のペースに添えないことが多い。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理美容は、2ヶ月に一度訪問美容室にて行っているが、女性のお化粧などについては、支援が不足している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化しているため、一緒に行くことは難しいが、食事は楽しく行えている。	献立は、栄養士が作成し両ユニットとも同じメニューであるが、行事食は、職員が工夫を凝らし手作りしている。介護食、ミキサー食の方がおられ、食事介助の方も増えてきている。お盆拭き、エプロンたたみなどのお手伝いをされる方がおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合った支援は、しっかりと行えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が付き添い、仕上げ磨きなど必要な方には行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時誘導を行うなどして、極力トイレでの排尿を促している。	布下着の方もおられたり、リハビリパンツの方も多し。失禁があっても羞恥心やプライバシーに配慮しトイレで排泄ができるよう支援している。昼食に毎日、ヨーグルトを提供し、利用者の好みなどを考慮した水分補給を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬に頼ることばかりではなく、運動を行うなどしている。腹部マッサージを含む。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日を定めることが必要なことはあるものの、楽しんで入浴をしている。	週3回を目安に、必要に応じて入浴を勧めたり、利用者の希望にも応えている。入浴をためらう利用者には、気持ちよく入浴を楽しんで頂けるよう工夫し、個々に応じた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室に限らず、本人の希望に添った場所で、休んでいただくこともある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	変更時、申し送りなどで確認を取り合っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりのレベルが違いすぎるため、難しいところがある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の外出行事を行うも、皆が出かけられない状況ではある。	理念を意識し、外出計画が実行されるよう少人数化し、季節を肌で感じられるよう支援している。初詣、花見、ドライブ、ソーメン流し、夏祭りへの参加、外食や墓参りなどはご家族に協力を頂いている。今年度からは、より外出の頻度を増やしたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を理解できない状況にあるため、事務所に管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>やり取りができるレベルではない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの壁画など作り、季節感を味わってもらうなど、明るい環境づくりを行う。</p>	<p>対面式キッチンがあり、ソファに座りテレビを鑑賞したり、食堂で利用者がくつろいでいる。生花が飾っており、紫陽花の折り紙は季節感を演出している。壁には、利用者が書いた習字が掲示してあった。畳スペースがあり横には、ソファが置いてあって等身大の女の子の人形が置いてあり、男性利用者の癒しになっているという。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>工夫は行っているが、自分で動ける状態ではない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、使い慣れたものを持参していただき、ご自宅を同じような空間作りに努めている。</p>	<p>テレビ、座卓、ぬいぐるみ、位牌などの馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせる個性的な居室である。こたつを持ち込み入所前の住環境を再現した居室もあった。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様の動線に合わせた環境づくりを行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない